

学術情報センターだより

Library and Information Technology Center, Nagoya Women's University

なぜだろう なぜかしら

北川 剛一 (美学)

ある小雨の降る日の午後であった。「一緒に行くか、探しに！」と口少ない父が言うので「うん」と答えてついて行った。訳も解らず家を後にして1時間程度で着いた所は書店であった。でも、それまでに行った事のない空間、色彩が目に入って来ない、薄暗く、入って行けば入って行く程、棚が奥まで続いて、ところどころ、違う列に行ける通路のように狭い小路で繋がっていた。上を見上げると、天井まで積まれた本の壁、壁、壁。押し迫って来る壁の迷宮の様な通路を父はサッサッサッサッと入って行って、くるっと廻って立ち止まり、壁を凝視して一冊二冊取り出して立ち読みを始めた。私は興味本意で本棚の迷路を探検して遊んでいた。迷路のような通路もだんだん暗くなり恐ろしく、飽きてきた所へ、父が「もっと表の方の本でも見て来いよ」と一言。私は明るい表の方向へ走って行った。箱の横にミカンの絵が描かれた木箱が通路に2、3ヶ置いてあった。明るい40Wの電球が輝いている所まで出てきたら、坊主頭の自分でも読める文字が並ぶ壁が目に入った。50年以上前の話である。ジーンと壁を眺めていた私の目に縦に並んだひらがなの10文字。「なぜだろう なぜかしら」と書かれた本であった。不思議そうな不思議でない不思議な名前！に私は見入っていた。早速ミカン箱を持ってきて登った。手をズボンで無意識に掃っていた。なぜなら凄く綺麗な色の本で、他の本と比べて格段の差がある様に思えたからだ。そっと手にして表紙を見たら、布張りのハード本で、型押しで「なぜだろう なぜかしら」と綺麗なピンクがかかったページの版に本の名が刻印されていた。幼少な私でも美しく綺麗で格調を感じたのでしょ

うね。恐る恐るページを開けてみた。上段と下段が別れていて、半分は挿絵と疑問、半分はその訳と理由が説明してあった。綴られている文章には、難しそうな文字にふりがなが付いていた。挿絵も立体的にエッチングされ見たことがない立派な本であった。ゆっくり丁寧に読み進むにつれ、引き込まれていく自分を初め

て体験した。と、その時「おい、いいか、何か見つけたか？俺も一冊見付けたから、その本持ってついて来い」と言われ、支払いを終え、暗い外の闇の中を帰途についたが、本はしっかり抱いていた。布張りのしっかりした綺麗な本は、その後は、何度も何度も読み直され、無惨にも縁の布はほつれ、綴じ糸もボロボロに切れ始めていた。この本が私にとって本らしい本の一冊目となった。

小遣いは絵具代と材料代で飛んでいき、古本屋通いが始まった。名古屋の32軒の古本店を限なく廻っていた高校時代。60円、80円、120円、そんな安い本ではあったが、世界に出掛けた著者らが自分の足で、目で、体で書いた言葉が当時の私の心にグサリグサリと刺さってきたことを思い出す。デカンショーを読み、芸術論の訳について毎晩友と激論を交わしていたキザな高校生グループ。大学生になってもまだまだ古本屋廻りは終わらなかった。卒業後、渡仏した巴里でも更に古本屋を駆け巡った。そこで初めて異邦人としての自分と欧州の人の物事の見る視点論点への違いを目の当たりにし、狭い考えの自分に恥ではなく大恥をかく思いの20代であった。寒い冬空の許、巴里の古本屋の扉を開けたその瞬間から、私の第2の大きな「何故だろう 何故かしら」がまた始まった。そしてそれは、終わることの知らない問いであり、終わることの無い答えでもある。

1960年代有能な世界のカメラマンによる大規模な写真展覧会「人間とは何か」が世界中で開催され、私の「何故だろう 何故かしら」はこの展覧会テーマ「人間とは何か」へと転化した。私の疑問と答え探しは本を探ることから彫刻制作へと移行し、私の第3の「何故だろう 何故かしら」探しは、視角造形言語を生み出す彫刻制作となった。60年代から現在もそして未来も制作を続けていくであろう。古い1冊の本は私の肥沃な大地となり、大きな道標となった。

◎ 目 次 ◎

巻頭言「なぜだろう なぜかしら」	1
私のおすすめ本	2・3・4
学生用メールシステムの使い方について	5・6
図書館のよくある質問	7
雑誌の紹介をしています(汐路本館)	8
平成19年度利用者アンケート結果報告	9・10
新規導入データベースの紹介	10
シラバス参考図書、推薦図書一覧の公開	10

私のおすすめ本



図書館をよく利用している学生の方に、おすすめの本を紹介してもらいました。

家政学部 食物栄養学科3年

私が今回紹介する本は『話を聞かない男、地図が読めない女』（アラン・ピーズ、バーバラ・ピーズ著）です。この本を読むきっかけとなったのは、題名もインパクトがあり惹きつけられたこともあります。題名の傍に書いてあった“男脳・女脳が「謎」を解く”という文章です。

この文章がほぼ本の内容を表しているといえると思います。この本は脳科学の視点から、男女の日常よく見られる会話や状況、考え方の違いをユーモアを交えて書かれています。脳科学というと、何か難しそうな感じを受ける方もいるかもしれません。しかし、この本の冒頭にも書かれているように、科学的な事実を下敷きにしながらも、できるだけ堅苦しくならないように、日常よく見聞きする会話や状況、考え方をおもしろおかしくちりばめ、著者が外人であることも加わり、ユーモアたっぷりに書かれていて読みやすいと思います。

最近テレビを見ていたら、黒柳徹子さんが“男の人は一度にひとつのことしかできないらしい”ということをしきりにおっしゃっていました。この本でもこのことに触れていて、脳のつくりから説明しています。この本を読んで、わたしは自分という人間の持っている特性も深く理解できました。また、一番良かったと思えることは、今まで理解できなかった男の人（この大学に入ってから、私の身の周りには父ぐらいなのですが）の言動に対して、以前はイライラしたり、腹を立てたりしたこともあったのですが、最近では脳のつくりが違うからしょうがないか、と思えるようになったこと、脳のしくみが違うからという理由を得たことで男の人の理解が深まり、身近に感じられるようになったことです。

家政学部 生活環境学科2年

私の最近のおすすめ本を何冊か紹介します。

★泣ける本

『ハッピーバースデー』青木和雄・吉富多美著

主人公は2人兄弟の妹。母親は兄ばかりかわいがり彼女は冷たくされていた。そして、母に生まれてこなければよかったのと言われた瞬間、声が出なくなってしまう。祖母の家に預けられだんだん心の傷を癒していくという涙なくしては読めない本です。

★心があつたかくなる本

『天国の本屋』松久淳・田中渉著

彼は本とは縁のない生活を送っていた。そんなとき突然、天国に連れていかれ、なぜか本屋で働くことになる。彼が本を読み聞かせると人がたくさん集まった。読み方が上手なわけでもないのに。彼は驚いた。とまあ、現実とは少し離れているが、いろいろな人の人生、また恋愛も描かれている。読み終わったあと、あと味のいい、あつたかくなる本です。

★海外に行く前に読む本

『日本は世界で第何位?』岡崎大五著

この本は、著者と著者の旅友人などの情報を集めた本です。かなりの数の国のことが書かれていて、世界のことを浅く広く知ることができます。しかも、内容もおもしろい。例えば、日本では考えられないが、アゼルバイジャン共和国の入国審査官に100ドル払わないと入国スタンプを押してあげないと言われた。イスラム教国の中には、イスラエルのスタンプが押しであると入国拒否される国がある。日本は穀物自給率が123位だ。などなど…へえ～！なるほど！と思うものから、笑える話まで書いてある本です。

★時間のない時に読む本

『決定版 ユダヤ・ジョーク集』ラビ・マービン・トケイヤー著

『決定版 中国人古典ジョーク集』王敏著

『思いやりのこころ』木村耕一著

いくつもの短いエピソードやジョークで構成された本です。1つの話を1分くらいで読めます。少し時間の空いた時などにおすすめです。ジョーク集は名前の通りおもしろく、思いやりの心はおもしろい話から泣ける話まで書いてあります。題名は少し手を伸ばしにくいですが、ぜひ1度読んでみてはいかかでしょうか。

短期大学部 栄養科2年

学校の設備はどんどん活用すべきです。特に、図書館は使わないと勿体無いです。試験勉強でたまに、最初のガイダンスの時だけ、という人は損をしています。付属設備分の費用も学費に含まれていますから。そんな人たちの参考になればいいなと思い、私の図書館利用法とお勧めの本を紹介します。

私は図書館を、レポート作成の場所として利用しています。栄養科の実習があり、その経過をレポートに書く事が多いです。レポートはできる限り実習をした当日に書くのが望ましいです。分っているけど難しい、のが本音でしょう。私もそうです。提出はまだまだ先だから。切羽詰まってない。そこをあえて、当日図書館に寄ります。図書館は静かで、周りの人も大抵は図書館という場所に相応しい行動をしています。パソコンもあり、書き終わったレポートを印刷する事も出来ます。記憶が鮮明なので、ギリギリに書くより間違いなく時間がかかりません。体験者は語ります。特に、参考図書が沢山あるので、比較もできます。その場にいるので、重い本を何冊も持ち帰る必要もありません。素晴らしいレポートが書けるはず。成績も良くなります。良いことづくめですね。

図書館にある中で私が勧める本は、いわゆる話題作です。具体的には『対岸の彼女』角田光代著、『模倣犯』宮部みゆき著、『池袋ウェストゲートパーク』石田衣良著、『バッテリー』あさのあつこ著、などです。本や雑誌は、映像メディアと異なり、自分の速度で楽しめ、途中で止めたり再開したりが簡単です。道具も必要ありません。時間をわざわざ作らなくても、ちょっと空いた時間に最初のページをめくって下さい。気に入らなければ、そこで閉じてしまえばいい。続きが読みたくなれば、ページをめくればいい。自由です。

ぜひ、お昼休みや帰宅前に図書館に寄ってみて下さい。本だけでなく雑誌や実用書も沢山あって、気軽に使える場所ですよ。

家政学部 食物栄養学科3年

あなたは、今日何を読みましたか。新聞、参考書、インターネットの記事、小説、雑誌…。読める文は至るところに溢れています。読書が大嫌いだった私にとって、情報以外の文を読むことは地味でつまらないことでした。本を読むようになったのは、3年ほど前からです。本は特殊です。そこには、未知の世界や筆者の推敲された意見が書かれています。

私のおすすめしたい一冊は『風と共に去りぬ』です。筆者はマーガレット・ミッチェル。映画をご覧になった方は多いでしょう。私は映画を見た後、本を読みましたが、もう2、3度読み返しています。高慢な主人公のスカレットが全力で生きる様が多くの人を元気付けました。本では詳細や流れが掴みやすいので、スクリーン以上に面白く感じられます。主人公の破天荒な生き方や正直すぎる心理は、本からしか学べない面白さです。他にこの作品の見どころは、土地への愛着と戦時の状況。土地への愛着についてはよく台詞として出てきます。表現がストレートで、それが人から伝え聞いたように思い出されるので不思議です。戦時の状況については、男性ではなく女性を中心に描かれ、残された女性たちがどのように苦労したかがわかります。同時に女性のたくましさも見事に描かれ、さすが女流作家、と感心します。

筆者はヒロイン同様にたくましい女性だったようです。記者をしていた頃の様々な事実や人の意見を書き留め、何年も掛けてこの素晴らしい作品を完成させたそうです。

また、新井満さんの本もおすすめです。文体が非常にやわらかく、文面のレイアウトもされているので読みやすいと思います。新井さん自身が撮った写真も織り込まれ、よりその世界観を感じられます。『千の風になって』や『イマジニ』『般若心経』などはメッセージ性が強く、いつでも読みたい詩のひとつです。

小説以外で最近勉強になった本は『LVMHを創った男：ベルナール・アルノー、語る』。ベルナール・アルノーはご存知モエ・ヘネシー・ルイ・ヴィトンを買収した企業家です。インタビュー本ですが、彼の冷静で先見性のある判断力はすごい、と伝わってきます。広告やデザイナー起用にも勿論関わる彼。ファッション界の影で彼の経営哲学が働いているのは面白いことです。

最後に、藤沢周平の『蝉しぐれ』を推薦します。もう読んだ方も多いでしょう。時代小説の類に入りますが、それが新鮮に感じます。ある時から不遇に陥ってしまった主人公が、剣の腕を磨き信念を貫いていくというものです。武士の時代の、言葉にする必要も無いような父と子の絆の固さが感動的です。



大学院 人文科学研究科 2 年

★『李白と杜甫』高島俊男著

漢文の授業で漢詩を習ったとき、まずこの二人の名前を目にしたことでしょう。

744 年、この二人は洛陽で奇跡のようにめぐり会いました。李白 44 歳、杜甫 33 歳のころです。対照的な性格ながら彼らは意気投合し、それから一年以上、二人でいろいろなところを旅して回りました。

著者が「ネアカ李白とネクラ杜甫」と表現しているように、性格も、家柄も、詩の作風も対照的な二人ですが、気の置けない友として交誼を結び、とくに杜甫は李白を憶う詩をいくつも作って、いつまでも彼と交流した青春の思い出を大切にしていました。一首ご紹介すると……

『春日李白を憶う』

白也詩無敵	白や詩に敵なし
飄然思不群	飄然として思い群ならず
清新與開府	清新たるは與開府
俊逸鮑參軍	俊逸なるは鮑參軍
渭北春天樹	渭北春天の樹
江東日暮雲	江東日暮の雲
何時一樽酒	何時か一樽の酒もて
重与細論文	重ねて与に細やかに文を論ぜん

訳：李白どのの詩は無敵である。自由奔放な考え方、行動力は群を抜いている。その詩風の清新さは北周の與信開府に匹敵し、俊逸さは南朝宋の鮑照參軍に並ぶ。私はここ渭北の地で、のどやかな春空のもと一本の樹木に寄り添っている。あなたは江東のどこか、夕暮れ時にどこをさまよっているのか。いつの日かまた、ひとつの樽酒をはさんで向かい合い、再び詩文について論じ合いたい。

二人が再会することはありませんでしたが、杜甫の心の中にはいつも李白がいました。

本の中ではそれぞれの人生、作品が比較・考察され、わかりやすい文章で説明されています。いきいきとした語り口なので、楽しんで読めます。漢詩をとっつきにくいと感じていた人も、この本でぐっと身近に感じられるはずです。

文学部 国際言語表現学科 2 年

★お気に入り Best 3

Best 3 『オーデュボンの祈り』伊坂幸太郎著

主人公の伊藤という男。彼は仕事を辞め、ある日コンビニ強盗を実行したが、失敗に終わってしまい警察に追われ、逃走中に気を失ってしまう。目が覚めると、そこは江戸時代から交流が絶たれている島だった。その島には奇妙な人々が居り、嘘しか言わない画家、殺人を許された男、未来を見通せるカカシ。ある日、カカシは何者かによって殺されてしまう……未来を見通せるカカシが何故、自分の死を予知出来なかったのか？

3月に公開された映画“死神の精度”でも知られている伊坂幸太郎の作品です。一度、読んでみては。

Best 2 『Calling you』乙一著

映画にもなったこの作品を知っている人もいると思います。主人公のリョウには誰一人として友達が居らず、携帯電話を持っていない。そこで、彼女は頭の中で自分だけの携帯電話をイメージした。ある日、その携帯電話に電話がかかってきて……。

気になる続きは自分で確かめてみてください。オススメの一冊です。

Best 1 『4 TEEN』石田衣良著

どこにでも居そうな中学生 4 人組。ジュン、ダイ、ナオト、テツロー、4 人は仲良しでいつも一緒にいる。そんな平凡な毎日だったのが、ある日ナオトが病気になり、ダイは罪を犯してしまう。だが、4 人の関係は何ら変わりがなかった。

中学生の心境をリアルに描いたこの作品で、石田さんは直木賞を受賞しました。自分が中学生だった頃を思い出し、一度読んで見るといいと思います。

◆ 学生用メールシステムの使い方について ◆

1. 学生用メールシステム

Windows Live Hotmail (以下 Live メールとします) は Microsoft が提供するブラウザで利用できるメールシステムで、本学では学生用メールシステムとして利用します。主な機能は以下の通りです。

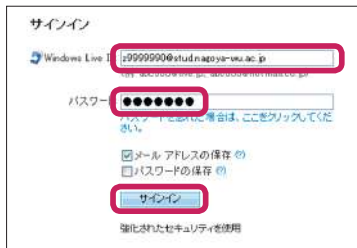
- ・ 自宅や携帯から利用可能な Web メール
- ・ 5GB の受信トレイ
- ・ 強力なウイルス・迷惑メール防止機能

2. 初回起動時の設定方法

- ① 演習室で利用する場合、【スタート】をクリックして【電子メール (Windows Live mail)】を選択します。自宅等では <http://mail.live.jp> から利用できます。



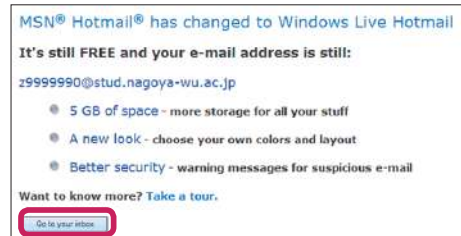
- ② サインイン画面が表示されますので、ID およびパスワードを入力します。
【ID】 ユーザ名 @stud.nagoya-wu.ac.jp (メールアドレス)
【パスワード】 演習室 PC に Logon する時のパスワード
必ず演習室 PC に Logon する時と同じパスワードを入れて下さい。



- ③ アカウント情報を入力する画面が表示されますので、必須項目を入力します。
【必須項目】 パスワード、秘密の質問および答え、国/地域、郵便番号、都道府県、生まれた年



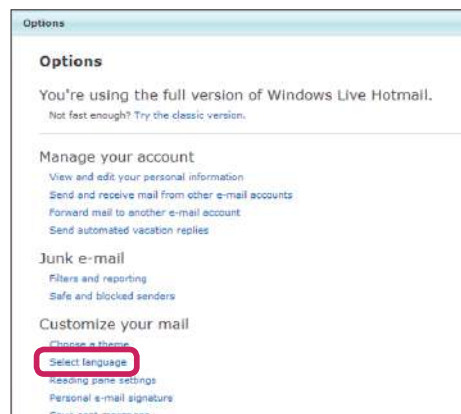
- ④ 下記のような画面が表示されたら、【Go to your index】をクリックします。



- ⑤ メニュー画面の右上に表示されている【Options】(又は【オプション】※) をクリックします。
 ※【オプション】のように日本語で表示されていた場合は、クリック後⑧へお進みください。



- ⑥ 【Select language】をクリックします。

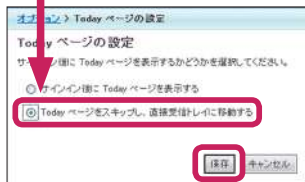


- ⑦ 画面をスクロールして【日本語】と【Save】をクリックします。



⑧続いて Today ページの設定を変更します。

【オプション】の【メールのカスタマイズ】の中に【Today ページの設定】があるのでクリックし、【Today ページをスキップし、直接受信トレイに移動する】にチェックを入れ、【保存】を押します。



以上で初回起動時の設定は完了です。
 なお、今後は Live メールでパスワードを変更しないで下さい (演習室の PC でパスワードを変更すれば自動的に Live メール のパスワードも変わります)。パスワードがわからなくなった時は学術情報センター事務室までお越し下さい。

3. Live メール の送受信方法

- ① Live メールを起動しサインインします。
 【ID】 ユーザ名 @stud.nagoya-wu.ac.jp (メールアドレス) 【パスワード】 演習室 PC に Logon する時のパスワード
 サインイン後、受信メールの一覧が表示されます。



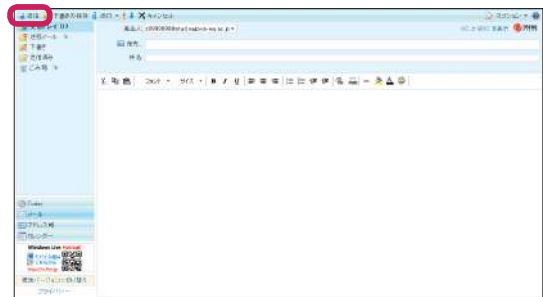
②受信メールの件名をクリックするとメールを読むこ

とができます。
 もし迷惑メールを受け取った時は、【迷惑メール】ボタンを押して下さい。



③メールの新規作成方法

【新規作成】をクリックすると、新規作成画面が表示されます。宛先、件名、本文を入力後【送信】ボタンを押します。ファイル添付は 10MB まで可能です。



④届いたメールの返信方法

返信したいメールの画面から【返信】ボタンを押し、返信内容を入力し、【送信】します。



4. 携帯からの利用方法

Live メールは携帯電話からも利用できます。http://m.live.jp 又は下記の QR コードから利用して下さい。なお一部で利用できない機種もあります。



5. 最後に

利用についての詳細は、学術情報センターシステムサービスのホームページをご覧ください。不明な点や問い合わせは学術情報センター事務室 (沙路: 中央館 303、天白: 2 号館 422) までお越し下さい。

図書館のよくある質問

図書館でよく聞かれる質問を紹介します。



Q 図書館はいつ開いていますか？

A 月曜日～金曜日は 8:30 から 21:00 まで、
土曜日は 9:00 から 17:00 まで開いています。
日曜祝日は休館です。平日でも休館することがあります。
また、長期のお休みの間は開館時間を変更することがありますので、開館日や開館時間はホームページや掲示板の図書館カレンダーで確認してください。

Q 本は何冊、いつまで借りられますか？

A 本は 7 冊まで、2 週間借りられます。
長期休業期間や試験期間などは貸出期間が変わります。
なお、返却が遅れた場合は、その本を返すまでは新しく本を借りることはできません。

Q 本の探し方がわからないんですが？

A 図書館の本は、その内容で分類されて番号ごとに並べられています。その本の番号は、背に貼られているラベル(3段)の一番上の段に記入されています。
本を探すときは、見たい本の分野の番号の書架を直接探しに行くか、図書館のホームページの OPAC(蔵書検索)*で検索をして所在を確認してください。
詳しい探し方は「利用の手引き」に載っています。
わからないときはカウンターに聞いてください。

Q 携帯電話は使えますか？

A 持ち込みはできますが、電源を切るか、マナーモードにしてから入館してください。館内での通話や音を出す行為(撮影など)はしないようにお願いします。

Q 図書館で購入してほしい本(雑誌・DVD)があるんですが？

A 図書館内に置いてある「購入図書希望申込書」に記入して出してください。または図書館のホームページから申し込みをすることもできます。図書館で購入するかどうかを調査・検討した上で回答をします。

Q CD や DVD は借りられますか？

A 音楽や語学の CD は借りられます。
借りられるのは、3 点まで、一週間です。
DVD やビデオは著作権の規定により借りられませんので図書館内のメディアルームで利用してください。

Q 友達と相談しながら勉強したいんですが？

A 他の人の迷惑になりますので、図書館で私語はしないようにお願いしています。ただし、グループ閲覧室(汐路)やメディアルーム3(天白)では、図書館資料を使って相談しながら学習することができます。カウンターで申し込みをしてください。

Q 実習でしばらく大学に来れないんですが？

A 実習や研修でしばらく大学に来ることができない場合は、貸出期間を延長することができます。借りるときにカウンターに申し出てください。

また、卒業研究で使用する場合も貸出期間を延長することができます。ただし、いま借りている本をそのまま長く借りることは出来ません。

Q 雑誌は借りられますか？

A 雑誌は 2 冊まで、2 日間借りられます。
最新号など、一部の雑誌は借りられません。図書館内で利用してください。必要部分をコピーすることもできます。

Q 授業の参考図書はありますか？

A シラバスで参考図書に指定されているものは購入しています。図書館ホームページの OPAC(蔵書検索)*や学生ポータルで検索してください。

Q 図書館でコピーはできますか？

A コイン式のコピー機があります。白黒は 10 円、カラーは 50 円(汐路のみ)です。著作権に従って、複写申込書に記入してからコピーをしてください。
なお、著作権の規定により図書館資料以外はコピーできませんので、ノートなどのコピーは汐路南2号館の談話室、天白 2 号館地下のコピー機を利用してください。

Q 読みたい本が貸出中なんですか？

A 貸出中の本に予約をかけることができます。カウンターで申し込みをするか、図書館のホームページから自分で予約をかけることもできます。予約した本が返却されたときにはメールでお知らせします。メールアドレスは携帯や自宅パソコンのものに変更することもできます。

Q 天白の本(汐路の本)も借りられますか？

A 汐路・天白どちらの学生も両方の図書館を利用することができます。直接行って貸出もできますし、カウンターで申し込みをして取り寄せることもできます。
なお、返却はどちらの図書館でも可能です。

Q どうして図書館は飲食禁止なんですか？

A 図書館には、本などを使うだけではなく保存する役割もあります。飲み物がこぼれたり、食べもののかげらが落ちて、本や雑誌が汚れたり、虫がわいたりする恐れがあります。また、集中して勉強している人にとって他人の食べ物の匂いは不快に感じられます。飲食は談話室や食堂などをお願いします。また、図書館の中に飲食物を持ち込む場合は必ずカバンの中にしまってください。

わからないことはカウンターへ！

* OPAC(Online Public Access Catalogue)とは WEB 上で公開するオンライン目録のことです



◆ 雑誌の紹介をしています (汐路本館) ◆

図書館にはどのような雑誌があるか、知っていますか？ 1階のブラウジングコーナーには、“MORE (モア)”や“きょうの料理”など、読みやすい娯楽的な一般雑誌があり、2階閲覧室の雑誌コーナーには、栄養学や環境、保育、建築、教育、看護、食品など他にもたくさんの分野の専門的な学術雑誌があります。

ファッション雑誌や料理雑誌などは、誰もが読んだことがあると思いますが、学術雑誌はどうでしょうか。学術雑誌というと、“堅苦しい記事や論文が掲載されている雑誌”だと思っている人も多いでしょう。また、自分の専門分野のものは利用するが、それ以外は敬遠してしまっているという人もいるかもしれません。確かに、難しい単語や専門用語ばかり並んでいると、だんだん読む気が無くなってしまいます。

しかし、実はこういった雑誌の中にも、専門知識がなくても、気楽に読めてしまうものがたくさんあるのです。

図書館では、より多くの人にこうした雑誌を知ってもらうため、1階の掲示板と2階閲覧室の雑誌コーナーに、毎月雑誌案内を掲示しています。

この案内は、新着で入ってきた雑誌の中からこれぞぜひ読んでもらいたい！というおすすめの一冊を選び、紹介しています。

例えば、“フランス語会話”という雑誌を知っていますか？ フランス語会話は、NHKで放送されている語学番組「フランス語会話」をテキストの形式にしたものであり、日常生活の会話・表現・文法などが学べる雑誌です。しかし、それだけでなくパリを代表する芸術家たちのアトリエが紹介されていたり、フランス各地方の魅力的な場所や映画情報も掲載されているので、インテリア雑貨や映画、単純にフランスに興味がある方なら誰でも楽しめる内容になっています。気軽に読むことができ、語学知識が得られるので、とてもおすすめです。

また、“香りの本”という雑誌を読んだ事はあるでしょうか？ 香りに関する総説・学術論文・随筆等が掲載されている雑誌です。

香料や嗅覚・味覚に関する様々な研究論文が掲載されていますが、中には麦茶と牛乳と砂糖を混ぜるとコーヒー牛乳の味になる?!という、とっても不思議で興味深いものもあり、思わずへえ〜と頷いてしまいます。また、この雑誌には“匂い紙”が付いていて、毎回違ったコンセプトでローズやベリー系の甘い香り、フルーティーな柑橘系の香りなどが紹介されています。とっても素敵な香りなので、アロマ気分で雑誌を手にとってみるのもいいかもしれません。

また、“学校給食”は、学校給食の現状、子どもの食育・心・体・環境、全国のユニークな給食、給食の

レシピなど、その他“食”に関するさまざまな情報が掲載されている雑誌です。現在、日本の食料自給率は40%を切り、40年前と比べると30%も下がっています。これは、現代の日本人の食生活が欧米型の食事に変化しつつある事が原因として考えられるようで、例えば、「ハンバーガー・フライドポテト・コーラ」だと、自給率は20%ですが、「ご飯・焼き魚・のり・みそ汁」にすれば、なんと自給率85%になります。

しかしながら、日本は大量に輸入した食品の3分の1もの量を捨てているという現状があります。これからの日本の「食」について、今までとは違った観点で深く考えさせられます。



このように、図書館では毎月おすすめの雑誌を取り上げ、雑誌案内で紹介しています。

ぜひ一度1階の掲示板、または2階閲覧室の雑誌コーナーに掲示している雑誌案内をご覧になって下さい。きっと意外な雑誌から、思いがけない発見があることでしょう。

【掲示場所】



1 F 新着図書案内



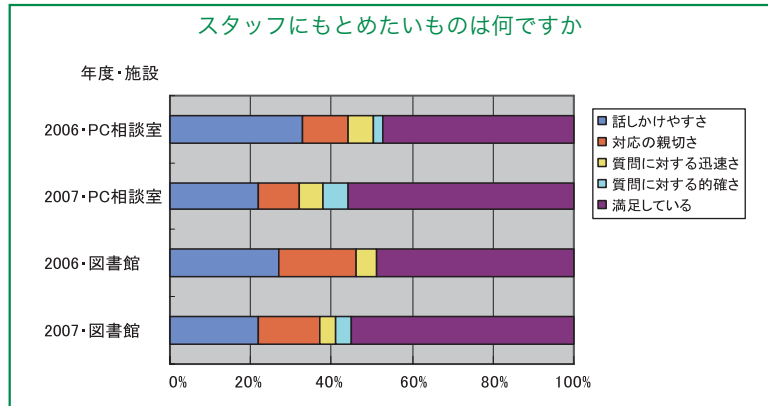
3 F 学術雑誌コーナー

平成 19 年度利用者アンケート結果報告

学術情報センターでは毎年学生対象に利用者サービス向上を目的としたアンケートを実施しています。平成 19 年度も 12 月に学内 PC 演習室で web アンケートを行い 368 名の方から回答をいただきました。アンケートの結果と改善点について報告します。

●スタッフの対応

「スタッフにもとめたいものは何ですか」の設問では、『満足している』と回答した方の割合が図書館、PC 相談室とも前回より増加しました。アンケートを実施し結果を基に改善を始めてから 4 年が経ちますが、スタッフが最も留意している対応については年々その成果がみえてきているようです。

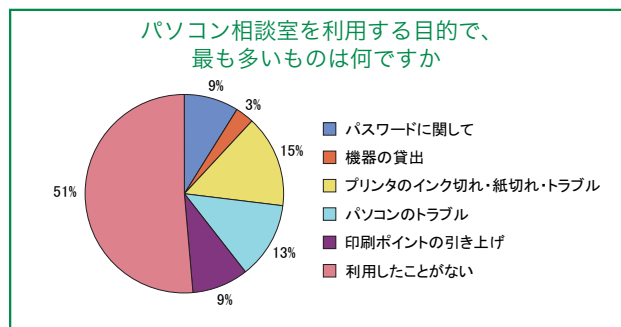
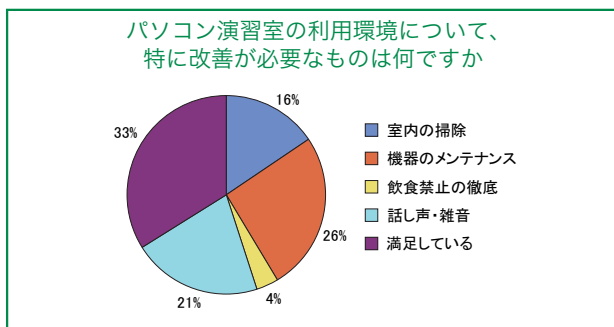
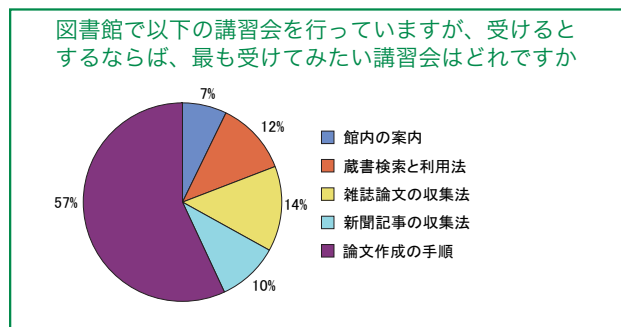
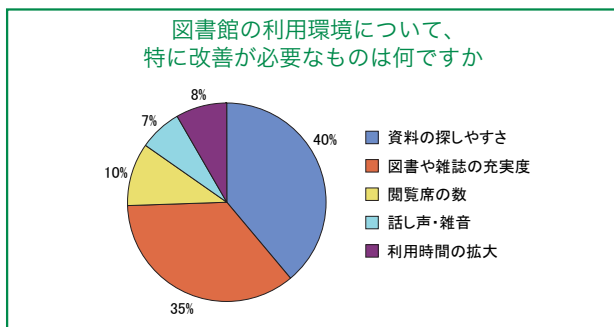
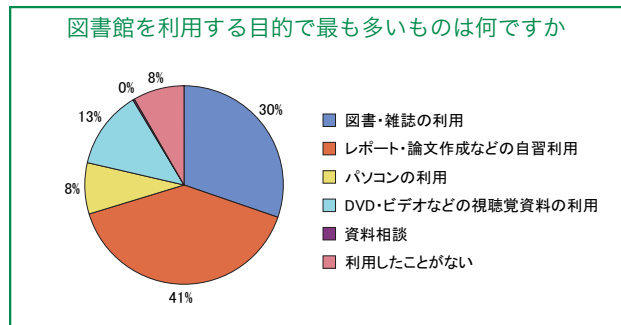


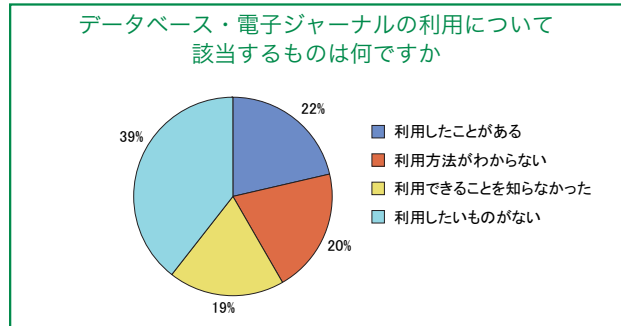
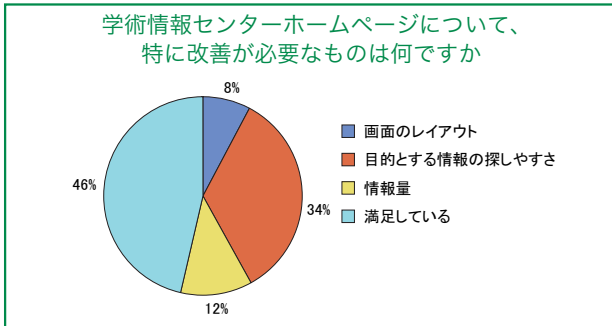
●図書館・PC 相談室、演習室への要望

図書館への要望では、資料の探しやすさ、資料の充実を求める意見が全体の 7 割を占めています。また、利用講習会については論文の作成法など、より応用的なガイダンスを望む声が多くなっているのが特徴です。PC 演習室では、室内の清掃、機器のメンテナンス、次いで話し声、雑音など利用マナーの徹底と環境整備面への要望が多かったです。平成 20 年度は図書館、PC 演習室、相談室とも、これらの要望を重点的に改善を進めていきたいと思います。

●意見箱をご利用ください

学術情報センターでは年 1 回のアンケート以外に意見箱を設置して皆さんのご意見をお寄せいただいています。意見箱は汐路、天白各図書館にありますのでこちらも活用してください。





◆ 新規導入データベースのご紹介 ◆

新たに、下記のデータベースが利用できるようになりました。いずれも、学術情報センターホームページのデータベース・電子ジャーナルからご利用いただけます。

●Literature Resource Center

Gale Group の文学レファレンス資料を統合した総合的な文学データベースです。全時代の作家・詩人・エッセイスト・ジャーナリスト、その他の作家について、人物情報・作品解説・文学的評論を中心とする詳細な情報を利用できます。また、MLA International Bibliography の検索結果から全文情報へのリンク機能もあり、統合的な利用も可能です。

●ルーラル電子図書館

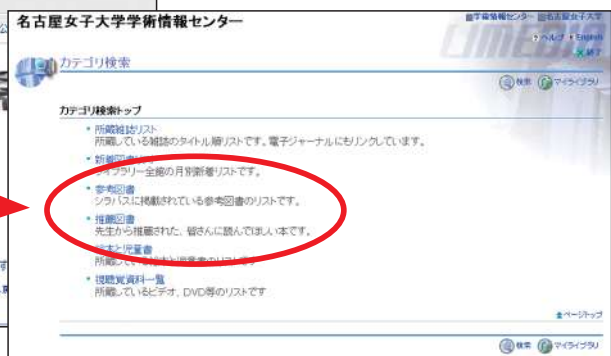
「食と農」を中心として、健康や環境などの分野も含めた「自然と調和した暮らしや社会づくり」に役立つ情報を検索・閲覧できる電子図書館です。この電子図書館は、「農業技術館」「農業入門館」「食・くらし館」「しらべ学習館」の4つの専門館から成り立っており、すべての専門館を利用することができます。

◆ シラバス参考図書、推薦図書一覧の公開 ◆



平成 20 年度シラバス参考図書と各学科からの推薦図書一覧を公開しました。

図書館ホームページから確認することができます。授業の参考になる資料や先生方からの推薦図書です。ぜひ参考にしてください。



名古屋女子大学 学術情報センターだより 第 51 号 発行日：平成 20 年 5 月 20 日

発行：名古屋女子大学学術情報センター
〒467-8610 名古屋市長穂区汐路町 3-40

● 図 書 館 TEL (052) 852-9768
● シ ス テ ム サ ー ビ ス TEL (052) 852-1120